

経営比較分析表（令和5年度決算）

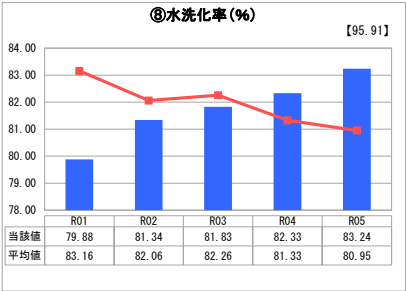
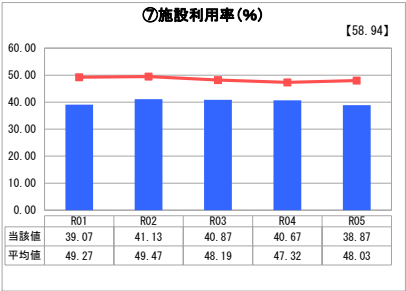
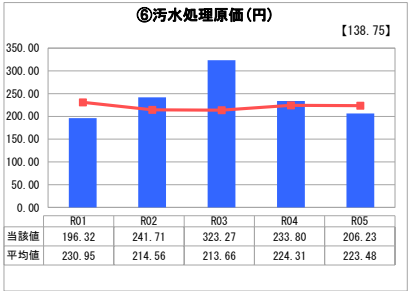
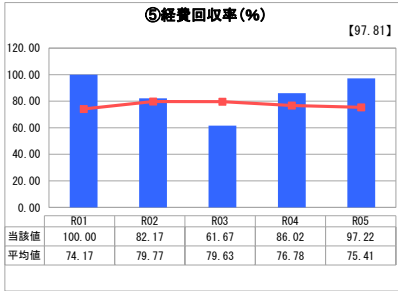
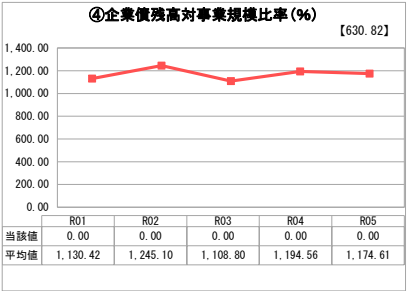
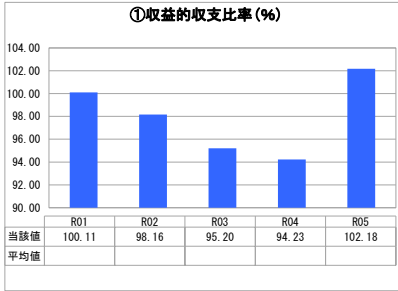
山形県 大江町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	52.82	94.11	3,685

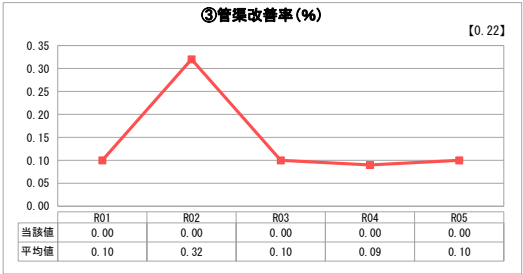
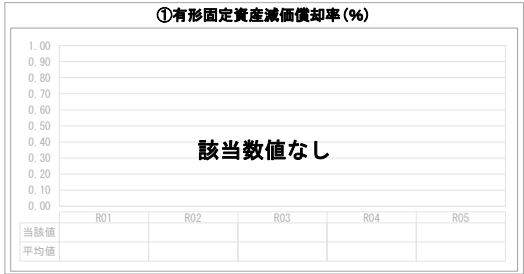
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,284	154.08	47.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,806	1.68	2,265.48

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全化・効率性を示す各指標は、概ね良好な数値を示している。収益の収支比率は、施設維持管理費用の増加や、料金収入の減少により、低下傾向にある。R5年度に100%を上回っているが、R6年度から企業会計へ移行するため、例年よりも一般会計からの繰入金が増加したことによるものである。経費回収率についても100%を下回っており、一般会計への依存度を低減させる必要がある。水洗化率及び施設利用率を向上させるため、未接続者・世帯を接続につなげていくことで、使用料収入の増加を図っていくこととしたい。

なお、R2年7月に発生した豪雨災害により災害復旧費が増加したことから、3年度の経費回収率が減少し、また、汚水処理原価が増加した。

2. 老朽化の状況について

供用開始後最長24年と下水道施設の更新時期にはまだ達しておらず、現状として老朽化に伴う施設の不具合は特段生じていない状況である。しかしながら、機械・電気設備においては、耐用年数により更新工事が必要な箇所が生じてきている。

については、今後確実に進行する老朽化対策のため、管渠及び処理場のストックマネジメント計画を策定、更新していくとともに、きめ細かなメンテナンスを継続して実施することで、可能な限り施設や設備の劣化を抑えることとしたい。

また、下水道施設のストックマネジメント計画や経営戦略の見直しなど、財政分析等を行うことで、維持管理費用の将来負担の軽減を図っていくこととしたい。

全体総括

各指標について、良好値はその継続、不良値はその改善に向けた方策の検討、並びに長期的な視点（概ね50年後）に立った下水道施設の改修等に係る経営計画に基づきながら事業を展開していくことで、健全な経営を持続させ、住民生活と公衆衛生の向上につなげられるよう引き続き努めていくこととしたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。